

3・11震災復興・原発NO!ウォーク in あきる野

88歳から赤ちゃんまで170人が参加



大震災・原発事故から1年となった3月11日、あきる野9条の会がよびかけた「3.11震災復興・子どもを守れ・原発NO!ウォーク in あきる野」行動が行われ、170人が参加しました。

秋留野広場では各団体が持ち寄ったうたごえ、大声コンテスト、年金と暮らしの相談、震災ボランティア報告写真展、原爆展、子ども工作、被災地へ送る絵手紙作成などのイベントが多彩に行われました。ウォークは風船や各団体が工夫したプラカードなどを掲げて「震災復興、原発いらない」と唱和しながら行進し、沿道の人々からも激励の拍手を受けました。また、地震発生の2時46分には行進を止めて黙祷をささげました。88歳から赤ちゃんまで幅広い年齢層が参加した元気で明るいパレードでした。

9条の会は秋留野広場でのイベントとして「愛と平和を叫ぶ大声コンテスト」を行いました。

コンテストには21人が挑戦して「原発止めろ」「九条守れ」「東京電力はちゃんと謝れ」など大声を競いました。2歳の女の子は「お母ちゃん！」と95.8dB(デシベル)、「勉強だいつ嫌い」と叫んだ中学生は99.5dBでした。野球のユニホーム姿で登場した青年は「野田政権を倒せ！」と叫び108.1dBの最高点。上位3名に「豪華？」賞品が贈呈されました。

憲法審査会の始動、改憲論議に動きが。求められる9条の会の活性化



九条の会東京連絡会2/27のミニ学習で「始動した憲法審査会の議論の特徴と私たちの課題」と題して高田 健さん(九条の会事務局)が講演しました。

高田さんは“憲法調査会(00~05年)をすべて傍聴し、昨年からの憲法審査会も毎回傍聴している。審査会は、安部内閣が強行採決した憲法改正手続法で設置されたが始動できていない。しかし、3.11に乗じるように、民自公3党の政治的取引で、社民・共産両党の反対を押し切って審査会を始動させた。審査会全体が改憲の雰囲気だ。3・11大震災の対応の立ち遅れは「憲法に非常事態条項がない」「国家緊急権規定がない」からだ」と改憲の緊急性を主張している。しかし、今の憲法に国家緊急事態条項がないのは9条があり、日本

は侵略戦争を反省したから当然のことだ。また、96条の憲法改正規定(国会議員3分の2賛成)を緩和を主張する意見が過半数を占めている。環境権やプライバシー権など「新しい人権」の導入を主張する改憲論も公明党や民主党の委員からだされている。1月の自民党大会は、「新しい憲法改正案」を提案し、その実現を目指すとしている。石原都知事は憲法は「破棄したらいい。改正しようとする、国会の3分の2の議決とか、国民投票がいる」と述べた。橋下大阪市長は「(9条の改正を)一定期間議論して、日本人全体で決めなければいけない」「国民が9条を選ぶなら僕は別のところに住もうと思う」と述べ、Twitterでは「日本では震災直後にあれだけ『頑張ろう日本』『絆』と叫ばれていたのに、がれき処理になったら一斉に拒絶。全ては憲法9条が原因だ」とつぶやき、爆発的なブームになっている。憲法9条をめぐる情勢は緊迫してきているから、この数年間の運動では追いつかない。私たちはネジを巻き直して運動を盛り上げていかなければならない。九条の会を活性化していこう」と話しました。



米軍横田基地が 変貌。自衛隊が移転

横田基地では1月10日から12日にかけて、アラスカの米陸軍部隊がアフガンへ行くためのパラシュート降下訓練を行い約100名が降下。目撃した人は「まるで戦場のようだった」と話しました。オス

プレイが配備されるとの報道もあり、これには「オスプレイの横田基地への一時配置の中止」を横田基地周辺5自治体が防衛大臣に要請しました。3月26日からは航空自衛隊横田基地の運用が開始され、航空総隊司令部、作戦情報隊、防空指揮群、気象及び警務関係部隊等約760名が移転してきました。第5ゲートの看板には航空自衛隊のマークとYokota Air Base 横田基地と書かれています。横田基地は日米一体とますます強化されています。

福島のアgricultureの声を聞く集会



「さよなら原発-にしたま-」が主催した2/26の第5回集会で話したのは、**近藤恵さん**(31)。あきる野出身、二本松市で有機農業をやっていました。

原発事故直後実家のあきる野市に避難、2週間ほどで戻り、今は宮城県に。「福島県知事は被害者のようなことを言っているが、原発を推進してきた」「記者の取材を受けたが新聞に“崩れた理想の暮らし”と書かれて傷ついた」「これからの福島では病気が多くなるだろう。放射能よりストレスのために」「失ったものは、希望、信頼、暮らし、健康そして仲間。得たものは、人とのつながり、生き方の反省を迫られたこと、多くの犠牲の上に自分が立っているかわかったこと・・・」と涙ながらに話しました。

菅野哲さん(63)。飯舘村で銀杏と野菜栽培農家をやっていました。「3月11日は車で一夜を過す。16日、線量が44.7μSv。なのに避難指示がない。19日、自主避難。25日、長崎大の高村氏の“安全だ、安心だ”の講演を400人が聞く。29日、京大の今中グループが汚染調査。31日、安全保安院は「避難の必要がない」と。今中先生が村長に避難提言、村長はこれを拒否。4月10日、近畿大・杉浦氏の安全安心の講演を1200人が聞く。次の日、政府が全村計画的避難区域にすると公表・・・」村のありよう、避難の状況、村民の心境などエピソードを交えて話

しました。そして「飯舘村には春が来ても、季節の恵は得られない、受け取れないのです」と。お二人の話が心にしみた集会でした。

偽札や風船爆弾 登戸研究所写真展

原水爆禁止あきる野協議会が4/2 から4/6まで市役所で開催しました。川崎市の明治大学生田キャンパスに「登戸研究所資料館」があります。登戸研究所の正式名称は「第9陸軍技術研究所」で秘密戦を担っていました。学校関係者や高校生、市民などの手によって実態が明らかとなり、明治大学が2010年に設立しました。今回、資料館や保存の会から貴重なパネルを45点ほど借りて展示したものです。かつて行っていた毒物・青酸ニトリルや電磁波を利用した殺人光線、米国本土爆撃用の風船爆弾、スパイ器材などの開発、実験、使用についての写真や図説、毒物の人体実験に立ち会った班長の科学者としての証言「はじめは厭であつたが馴れると一つの趣味になった」と記載されたパネルなど驚くばかりでした。戦争の隠された裏面、加害の側面を知ることができました。



□おしらせ□

- ◎ **さよなら原発-にしたま-第6回集会** 4/14 pm1:30~4:30、「放射能と食品汚染」講師安田節子さん。あきる野ルピア 3F和室。
- ◎ **第37回横田基地撤去のあらいこみ** 4/15 pm1:30~3:30、今回で4年目を迎えます。フレンドシップパーク(国道16号線沿い)
- ◎ **学習会「第1弾 憲法審査会の危険な動き」** 4/26 pm6:30~ 講師:高田健さん(九条の会事務局長) 豊島区民センター6F 資料代 800円。主催:九条の会東京連絡会。7月1日の大交流会のプレ企画です。
- ◎ **5.3憲法集会** 5/3 pm1:00~、パレード 3:30~ スピーチ:伊波洋一さん、小山内美江子さんほか 日比谷公会堂 入場無料。

□事務局だより□

- **訃報**:よびかけ人の谷村源吾さん(野辺)、関口初子さん(野辺)が逝去されました。心からお悔やみ申し上げます。
- **定例サポーター会**:第77回は5月12日(土)午後3時から市役所1階ロビーで行います。
- あきる野9条の会賛同署名数:累計969名。
- **ブログでも情報を発信しています。**

あきる野9条の会 **検索** でホームページをみましよう。A9ニュースもカラーです。ブログもクリックしてください。最新情報を掲載しています。